

在宅避難ができない… ～避難所に避難をすることになったら～



▲伊奈町防災マップについて

自宅に留まることが危険と判断した場合は、近くの避難所（指定避難所）に早めに避難をしましょう。避難所の設置場所は、『伊奈町防災マップ』をチェック！

避難所開設などの情報は、町ホームページや町登録緊急情報メール（登録方法は6ページ参照）でお知らせします。

避難のためのチェックポイント

- 火気の安全確認をし、電気のブレーカーを切り、ガスの元栓を閉めましょう。

- 渋滞の原因になるので、徒歩での避難を心がけましょう。

- 空き巣などの盗難対策をしましょう。

- 非常用持ち出し品を準備し、両手が使えるようリュックサックに入れておきましょう。

避難所での感染防止対策

- 受付時に検温とアルコールによる手指消毒を行います。
- マスクの着用をお願いします。
- 避難所内は内履きと外履きを区別してご利用いただけます。
- ごみはごみ袋に入れて封をし、フタ付きのごみ箱へ捨てます。
- 発熱の症状や感染症の疑いがある方は、原則として教室や会議室などの個室で対応します。また、トイレなどの動線も一般の避難者と区別します。



【避難をする時に必要なもの】

- マスク ●アルコール消毒液 ●体温計 ●食料や飲料水 ●タオル ●毛布 など

【避難者カード】を作りましょう

避難者カードは、避難所に避難した際に受付を速やかに、避難所生活に必要な対応（食料や物資の提供、要配慮者への支援など）を迅速に実施するためのものです。万一の避難時にすぐに持ち出せるようにしておきましょう。

〈準備の方法〉

- ①避難者カードを町ホームページからダウンロード。



◀町ホームページ
避難者カードを
作りましょう

- ②プリントアウトし、必要事項を記入。

- ③非常用持ち出し品と一緒にリュックサックの中に入れておきましょう。

【様式8】『避難者カード』

《避難者カード（*世帯ごとに記載）》

記入日 年 月 日

該当するほうに○をつけてください

1 避難者（避難所での生活を希望する方）	2 在宅被災者（自宅等で生活するが配給等が必要な方）
----------------------	----------------------------

*①～④について、記入又は○をつけてください。

① 町内会名	ふりがな	年齢	性別	備考
氏名等 *避難者の場合は 避難所にいる方 を記載してください。	氏名		男・女	
			男・女	
住所	代表者携帯：（ ）			
電話番号	（ ）			
③ 家族被害等 *わかるものに○	1. 住めない位の損壊や焼損 2. 不安を覚える位の損壊 3. 流失 4. 床上床下浸水 5. 断水 6. 停電 7. ガス停止 8. 電話不通 9. なし			
④ 緊急連絡先	*親族の連絡先など 電話（ ）			
⑤ 特記事項	*特に配慮を必要とすることがあれば記載してください。 *資格など、協力できることがあれば、氏名と内容を記載してください。 氏名 内容：			
⑥ 安否の問合せに情報を公表してもよいですか。	はい			いいえ
町ホームページに避難者として公表してもよいですか。	はい			いいえ

*以下の表は運営委員会で記載します。

避難者カードNO	退所年月日 / 在宅被災者の支援終了日	転出先と連絡先
	年 月 日	転出先： 電話：（ ）

町の災害発生時の取組

- ☆『伊奈町地域防災計画』などをもとに、災害発生時の活動体制等を設定しています。
- ☆避難所の開設をする際は、『避難所運営マニュアル』をもとに開設・運営しています。
- ☆町役場が甚大な被害を受け使用できなくなった場合は、伊奈町総合センターに**災害対策本部**を設置し、避難所の開設や情報収集等を実施します。
- ☆民間事業者等と**災害協定**を締結しており、有事の際は連携できるよう準備しています。
- ☆『伊奈町国土強靱化地域計画』に基づき、町民の生命や財産を最大限守り、迅速に復旧・復興できる「**強くしなやかな地域づくり**」を推進します。
- ※『伊奈町地域防災計画』や『避難所運営マニュアル』等は、町ホームページから閲覧できます。



▲伊奈町地域防災計画について



▲避難所運営マニュアルについて

●伊奈町総合防災訓練について

令和3年度の伊奈町総合防災訓練は、新型コロナウイルス感染症の急拡大の影響により中止となりましたが、感染症対策に配慮した避難所開設・運営訓練等を行うにはどうすればよいか、町職員・自主防災組織と合同で実施できるよう計画しました。



▲炊き出し訓練



▲避難所開設訓練



▲救助訓練

※写真はそれぞれ、令和2年1月に開催した伊奈町総合防災訓練の様子です。

日常での災害対策で大切なこと

生活安全課危機管理担当
小澤康二 主査

どのような訓練や対策でも「基本」が最も大切です。基本的な防災知識を積み重ね、頭の中でチェーンのようにつないでいくことで、有事の際にも冷静に対応できると考えています。

それぞれの日常生活を振り返り、災害発生時の行動をあらかじめ想定しておきましょう。



自主防災組織の活動を検討しましょう

皆様のお住まいの地域には「自主防災組織」があります。平常時には防災知識の普及や啓発、地域内の安全や設備の点検、防災訓練などを行います。また、災害が発生した場合には、情報伝達、初期消火活動、被災者の救出や避難誘導、避難所の運営など、大きな役割を果たします。

日ごろから地域で災害発生時の対応について話し合い、地域一丸となって、災害に負けない強い地域コミュニティを作りましょう。

